

■ KU-ORCAS「関西大学デジタルアーカイブ」と「国立国会図書館サーチ」が連携 ■

本学所蔵の東アジア文化研究資料(6,000点超)が 全国の図書館等の所蔵資料と同様に検索可能に

このたび、KU-ORCAS（関西大学アジア・オープン・リサーチセンター）が運営する「関西大学デジタルアーカイブ*1（6,000点超）」について、8月30日より国立国会図書館サーチ（NDL Search）*2とのデータ連携を開始しました。これにより、同アーカイブのメタデータを国立国会図書館サーチにて検索できるようになりました。なお、私立大学としては慶應義塾、駒沢、早稲田大学に次ぐ連携事例となります。

本件の
ポイント

- ・国立国会図書館サーチ（NDL Search）と関西大学デジタルアーカイブが連携
- ・本学の研究機関「KU-ORCAS」の所蔵資料が、全国の図書館等の所蔵資料とともに検索が可能に
- ・主な資料に、泊園書院資料群（「泊園文庫」や「泊園印章」）、「大坂（阪）画壇」絵画コレクションなど

「関西大学デジタルアーカイブ※1」では、本学が有する東アジア文化研究のリソースを社会に広く発信しています。代表的な資料として、本学の知的ルーツの一つである泊園書院に関する資料群（「泊園文庫」、「泊園印章」等）や、絵画コレクション「大坂（阪）画壇」、さらには本学総合図書館および教員所蔵の古文書・古記録、アジアの映画関連資料などがあります。

今回の連携により、それら貴重な資料群を「東アジアデジタルアーカイブ」として、全国の図書館等の所蔵資料とともに検索・閲覧することができます。

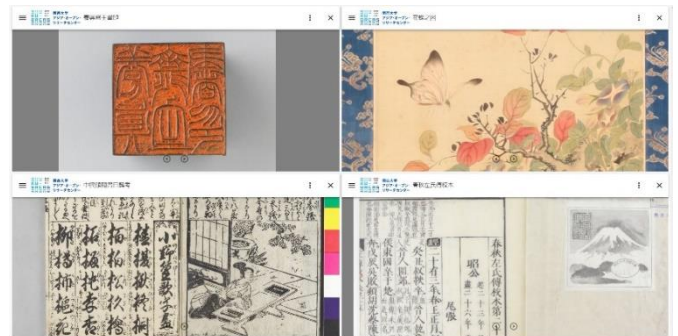
また、同アーカイブのメタデータは、パブリック・ドメイン提供（CC0 1.0 全世界（CC0 1.0））の条件により、国立国会図書館サーチから自由に利用可能です。
※国立国会図書館サーチが提供している外部提供インタフェース（API）からも利用可。

（KU-ORCAS・菊池信彦特別任用准教授のコメント）

2019年のリリース以来、KU-ORCASは関西大学デジタルアーカイブをオープンデータとして公開してまいりました。国立国会図書館サーチとの連携により、さらにデータの利用が高まることを期待しております。

■ 関西大学における東アジア文化研究

本学では、江戸後期から昭和前期まで栄えた漢学塾「泊園書院」をその源とする東西学術研究所（1951年設置）を中心に、「文化交渉学」という新しい学問体系の提唱およびそのめざましい研究業績により、東アジア文化研究を牽引してきました。これらの長き間に培われた学術リソースと国際的学術ネットワークを基盤に、新たな人文知の未来を切り拓くべく、2017年に KU-ORCAS を設立。東アジア文化研究に関するデジタルアーカイブの構築ならびに社会に開かれたオープン・プラットフォームの形成を推進しています。



（上段左から）養真齋主書印、花蝶之図
（下段左から）中興館閣書目輯考、春秋左氏傳校本

（*1）**関西大学デジタルアーカイブ** ▽ <https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/>

東アジア文化研究の豊富な実績を誇る KU-ORCAS（関西大学アジア・オープン・リサーチセンター）が公開する貴重な文化財。デジタル画像の相互運用における国際的な枠組み「IIIF」に対応しているため、同じビューワー内で他機関の IIIF 対応画像と並べて閲覧できるほか、アノテーションなどを追加・共有することも可能。

（*2）**国立国会図書館サーチ（NDL Search）** ▽ <https://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館をはじめ、全国の公共・大学・専門図書館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できる「『知』のアクセスポイント」。

< 次ページにつづく >

泊園文庫・泊園印章デジタルアーカイブ

泊園書院（江戸後期から昭和前期まで栄えた漢学塾で全国各地から門人が集まる）の蔵書は本学図書館に「泊園文庫」として一括寄贈されました。泊園文庫は2万数千冊にのぼる書籍を中心に、藤澤東咳・南岳・黄鵠・黄坡および石濱純太郎の自筆稿本約620点、さらに印章や多数の書画を含んでいます。まさに漢籍の宝庫であり、近世大阪文化の一大コレクションと言えます。

今回の公開では、本学が誇る貴重なコレクションの解説と鮮明な画像を提供。今後は門人録や成績表、月謝領収簿などの資料を入力するほか、氏名の明らかな門人の伝記資料を鋭意収集し、同書院のネットワークと活動の発信を目指します。

大坂（阪）画壇デジタルアーカイブ

文人画家の木村兼葭堂、戯画作者の耳鳥齋^{にちようさい}、写生派の西山芳園など、江戸時代から昭和初期にかけて商都大坂で活躍した絵師の絵画コレクションで、当時の大坂の美術界の状況を俯瞰することができます。今回の公開では絵画の全体図はもちろんのこと、細部の落款（作者のサインや印章）を拡大することも可能。作品間の影響関係など美術史研究の研究への寄与が期待されています。

東アジアデジタルアーカイブ

関西大学東アジアデジタルアーカイブで公開している資料は、関西大学総合図書館が所蔵する鱒澤文庫など個人文庫を中心に、和書、漢籍、洋装本のほか、関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS）所属の研究者の所蔵する西学東漸に関する資料等です。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、木田、久保
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp